愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録(概要)

会議名	平成 27 年度 第 1 回 愛西市巡回バス運行検討委員会
開催日時	平成 27 年 7 月 21 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 2 時 55 分まで
開催場所	愛西市佐屋保健センター 2階 会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	岡本敏秋
協議事項等	●協議事項(1)副委員長の選任について(2)巡回バス利用者実績について(3)巡回バス見直しについて(4)その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	_
傍聴人の数	1人
会議資料	次第 平成 26 年度 巡回バス月別乗車一覧 バスルート変更資料 バス停表示板資料
審議経過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	地区	備考
委員長	加藤 正夫	佐織地区	
副委員長	橋本 清吉	佐屋地区	
委員	伊藤 正憲	佐屋地区	
IJ.	篠邉 洋子	佐屋地区	
IJ	杉本 彌	佐屋地区	
IJ	水野 壽里	佐屋地区	
IJ.	服部 磯和	立田地区	
IJ	古江 由美子	立田地区	
IJ	横井 照雄	立田地区	
IJ.	渡邉 千鶴子	立田地区	
IJ.	飯田 雅美	八開地区	
IJ	岡本 敏秋	八開地区	
IJ	三輪 義治	八開地区	
IJ	渡邉 敏子	八開地区	
IJ.	加藤 平	佐織地区	
IJ.	梨本 嵩巳	佐織地区	
JJ.	畑朝子	佐織地区	
IJ.	服部 紀穂子	佐織地区	
IJ	松永 恵美子	佐織地区	

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備考	
福祉部長	猪飼明		
立田総合市所長	伊藤浩幹		
八開総合支所長	鈴 木 幸 雄		
佐織総合支所長	堀 田 豊		

事務局

氏 名	氏 名
飯 谷 幸 良	山 内 幸 夫
伊藤靖幸	加藤勉

審議経過

審議経過 発言者	内容(概要)
事務局	寺本文夫委員ご逝去の報告。
委員長	・委員長あいさつ お忙しい中、お出かけをいただきありがとうございました。 副委員長の寺本さんには在任中、積極的な意見をいただき、大変活躍をし ていただきましたけれども、残念でございます。私からも謹んでお悔やみを 申し上げます。 皆様方には慎重なる審議をいただきたいと思いますのでよろしくお願いい たします。
総務部長	・総務部長あいさつ 本日は、平成27年度第1回愛西市巡回バス運行検討委員会にお集まりをいただきありがとうございます。また、平素は愛西市巡回バスのよりよい運行のために様々な視点から検討をいただきまして感謝を申し上げます。お陰をもちまして、大きな事故・トラブルもなく、運行が続けられているところでございます。 本日は、巡回バス利用者実績について、あるいは巡回バスのルート見直しについてご検討いただけるということでございますが、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。
委員長	1. 副委員長の選任について 今回事情により欠員となってしまいました副委員長についてですが、要綱第4条により、委員長及び副委員長は委員の互選より定めることとなっております。前回は、委員長が指名ということで私が指名させていただきましたが、今回も同じやり方ということでよろしいでしょうか。 (異議なし) 皆さんのご賛同がありましたので、私が指名させていただきます。 佐屋地区の橋本清吉さんにお願いしたいと思います。 よろしくお願いします。 (委員了承)
副委員長	皆さんのご支援をいただきながら、よりよい巡回バスのご審議をいただき、 市民の皆さんが喜ばれるような巡回バスにしていきたいと思いますので、皆 さんにはよろしくお願い申し上げます。

事務局

2. 巡回バス利用者実績について

《資料1に基づき説明》

平成26年4月に時刻表改正。

平成25年度と比較して、利用者数は若干の増加。

改正初年度ということもあり、年数が経過するとともに、利用者数が増加 する可能性もあるかと思われる。

《ルート別の利用者数推移》

佐屋ルートは1日平均250人前後で推移、若干減少傾向。

立田ルートは1日平均20人前後で横ばい。

八開ルートは若干増加傾向。

佐織ルートは台数が1台増え、利用者数も増加。

委員

バス停が見やすくなったというご意見があった。

利用者を観察していると、自分が乗るバスの乗車時刻にマーカーする方を 多く見かけた。

佐織ルートの勝幡方面に行くバスに乗車したが、先に東八幡団地方面へ行って、後で勝幡駅に寄るルートであったので、先でも後でも勝幡駅に寄るような工夫があるといいのではないかと思われる。

委員

巡回バスを利用していろんな所へ行きたいという気持ちになった。

運転手の対応が親切である。

乗客に必ず声を掛け、相談相手になっている。

行きたい場所に辿り着けるように、バス停の案内を行っている。

足の不自由な方のために、座席の配慮を行っている。

現在のルートの中には、道が狭くてカーブが多いところもあり(国道1号線から富吉あたり)、運転手も苦労されている。

降車ボタンの位置が高齢者にとっては高い位置にあるため、停車する前から動かないといけなくなり、危ないので、もっと下に設置してほしいとの要望があった。

時刻表が非常に見やすいということで好評だった。

佐屋中央ルート中、日比野駅⇔柚木に回る区間で、道中でバスが一周する 部分があるので、時間のロスと思われる。

佐屋西ルート中、西條⇔星大明社は道が狭い上、さらに私有地から枝木が 道路側に出ているため、バスの運行に支障があるのではないかと思われる。

ョシヅヤ佐屋店のバス停の位置がバスの乗降口と逆なため、駐車場内でバスを切り返している状況を改善できないか。

佐屋東ルート中、日比野駅⇔市役所までの道中でバスが一周する部分があるので、時間のロスと思われる。

愛西プラザの出入口が明確でないため危険。

富吉駅から国道1号線を渡って進む道が狭いため、子供が面白がってバス

に触れることがあり危険。学校に注意喚起をする必要があると思われる。

佐屋中央ルートは6便~8便まで、一人の運転手が続けて運転しており、 用をたす時間もない。8便を15分くらい遅くして運行すれば、運転手の負担も軽減できるのではないかと思われる。

結論としては、巡回バスは大変便利なので、市民の方に巡回バスを利用してくださいということが言えるのではないか。

事務局

3. 巡回バスの見直しについて

《資料2について説明》

佐屋中央ルート中、30東條⇔31親水公園の区間で、道幅が狭く通学路になっている箇所があり、危険であるという意見をいただいたため、資料中「×」の道を廃止し、赤線で引いた箇所を通行するルートに変更したい旨、提案。

新しく変更を予定している道は、道幅の広い幹線道路になっているため、 現行の道よりはより安全に運行できるということで確認済み。

事務局としても、より安全なルートで運行したいと考えている。 変更による運行時間の変更はないため、時刻表の修正は行わない。

(委員より同意あり)

今週中に業者側にルート変更の対応を行う。

《これまでに届いた意見について報告》

旧の時刻表のルートと、新しい時刻表の時間帯が合わなくなって不便になったため、元の時刻表の運行に戻して欲しいとの意見。

→時刻表を変更することによって、それまで旧の時刻表に合わせた生活を してきた住民から必ず出てくるような意見であると考えている。

今回の改正により、本部田町や山路町、福原新田町のバス停が無くなった ため、復活させて欲しいとの意見。

他市へ乗り入れて広域で運行して欲しいとの意見。

電車の時刻に合わせた運行をして欲しいとの意見。

次のバス停の案内をバスの運転手にしてほしいとの意見(車内放送)。

→電話・メール・ふれあい箱の投書で寄せられている。

運転手の不注意によるバス停の通過、運転マナーの苦情。

→その都度、市側から業者に指導を行っている。

委員

今回のルート変更に伴い、佐屋中央のルートの順番は変わるのか。

事務局

「×」の区間を赤線の区間に変更するだけで、順番は変更しません。

委員

本部田町のバス停を復活させて欲しいという意見があった。

30番の東條と本保田は利用者が同じくらいであったということを聞いている。

福祉部長

30番の東條というのは、初めて設置したところです。

もともと東條については、佐屋高校の前にありました。

佐屋高校の前を通って、東名阪に向かいまして、農協(市江)のあたりを 北へ向かって本部田へ行くルートでありまして、本部田の利用が少ないとい うところで、バス停を少なくした記憶があります。

東條にも本部田にもバス停はなくてはいけないというような意味で、本部田の西北のところであれば、バス停30番が東條地内ではあるものの、本部田との境目でもあるので、そちらを利用されてもいいかなというところもあります。

本部田のポンプ場の前に停留所を置くと、迂回ルートに時間がかかるため 苦肉の策として、30番の位置にバス停を設置した経緯があります。

委員

バス停が無くなって不便になったということを、お話できる機会があった際には、お伝えして欲しいということでお話しした。

福祉部長

私が総務課にいた時にも聞いておりました。

そのご要望を伺っていた方がお一人でしたので、本部田の乗車人数に上積 みされにくい。その方が毎日乗るようであれば上積みは期待できたと思われ ます。

本部田町内の多くの方が例えば週に一度でも利用されていたような状況であれば、本部田のバス停も残っていたのではないかと思われます。

事務局

4. その他について

9月までにバス停にバス停表示板を設置する旨の報告。

今後の検討委員会の運営方法で検討していくことについて意見を求める。

委員

立田・八開・佐織地区の委員の皆さんにもそれぞれの地区の巡回バスに乗っていただいて、地元の意見をこの会の場で反映させていただきたい。そうすることで、検討委員会がより活性化するのではないかと思われる。

事務局に対しても、当面巡回バスを良くしていくということは変わらないが、10年後・20年後を見据えた公共交通バスの在り方について検討してもらいたい。

今年の5月24日の朝日新聞の総合欄の2面に「バス停にバスの来ない国」ということで、どこかの市町村でバスを運営していたが、住民の知らない間にバスを中止にしてしまって、バス停で待っていても来ないという新聞記事が載っていた。

沖縄の久米島で無人バスを試行しているとのこと。事務局にもぜひ現地に 視察に行って欲しい。無人バスは3年後には一般に実用化され、地域交通バスにも将来的にはおそらく実現可能になる。そのやり方が愛西市にとってふさわしいかどうかは別にして、10年後・15年後を見据えた公共交通バスの在り方について模索していただきたい。

委員

医療MAPの情報をバス停に入れておけば、通院中の方がバスを利用することになり、巡回バスの活性化につながるのではないか。

佐屋中央ルートのバスだけが停車するバス停は、東條、日置公民館、いちい信用金庫、親水公園とごく一部であるため、仮に日置公民館や東條やいちい信用金庫からの利用者が少なければ、佐屋中央ルートを廃止してもいいのではないか。

ただし、親水公園はスポーツ施設もあり、バス停は残しておく必要があるので、佐屋西ルートか佐屋東ルートのどちらかで親水公園を補えると良いのではないか。

事務局

バスは3台あるうちの2台にするということでよろしいか。

委員

まずはルートを見直したらどうか。現行のルートを廃止するのも良いし、 新しいルートを考えるのも良い。

台数を減らすといった結論はまだ早いのではないか。

福祉部長

医療機関の名前を入れたほうがいいというのは、先ほど言われた時刻表に PRとしてここの停留所にはこういう医療機関があることは検討できると思 うのですけれど、停留所の名前として全部加わらないかというのは難しい。

委員

停留所の名前にプラスして医療機関の名前が入らないか。

福祉部長

次の停留所は○○です。△△医院はここで降りてくださいというようなPRの仕方なら可能ではないかと思います。

巡回バスはもともと公共施設用に設置したバスであるため、民間の医療機関の送迎用のバスという性格は極力避けるようにしていたが、バス停の名称にしていた公共施設が無くなってしまったところについては、バス停の位置が分かってもらえるように、近くの医療機関の名称のバス停にしたものもあります。

現在では、ピアゴやヨシヅヤといったバス停もあるため、少しずつ緩和されてきてはいるが、そのあたりは理解していただきたいと思います。

委員

名鉄の五ノ三の駅の近くの五ノ三のバス停をもう少し近くに寄せられない かという要望があるが。

事務局 現在の巡回バスマップに変更する際に検討をさせていただきましたが、な かなかいいところがないというのが現状です。 来年の4月から庁舎が統合されたことで、今まで各庁舎で手続きできたも 委員 のは、本庁舎に行かないとできなくなるということが多々出てくることにな るのではないか。 総務部長 なるべくそういうことのないように、各支所で手続きができるようにしま す。 できなくなるという話も聞いているので、この際、本庁舎への直通バスを 委員 検討してはどうか。 委員 時間通りバス停に行ったら先にバスが出て行ってしまっていたという話を 聞いたことがあるが。 事務局 市としては、運転手の不注意が無いように業者には指導をしておりますの で、バスの時刻表の時間より先に出発するということはありません。 大変前向きな意見が出ましたが、今すぐにできるものではありませんので、 委員長 事務局と相談しながら前向きに進めたいと思います。 佐織ルートの巡回バス1台を年内に買い替える旨の報告を行う。 事務局